

# お客さま本位の取り組み

---

2025年度

三菱UFJアセットマネジメント

世界が進むチカラになる。



- 三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下、当社）では、お客さまの大切なご資金を預かり、運用する立場として、高い倫理観と専門性に基づき、お客さまの最善の利益をめざして、商品・サービスのさらなる向上に取り組んでいます。
- 当資料では、当社の取組方針および取組状況について、具体的な指標（KPI）や取組事例とともに取りまとめているのでご覧ください。

## お客さま本位の徹底

- お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、[当社としての取組方針](#)を策定し、商品・サービスの更なる向上に取り組んでいます。
- また、資産運用を通じて果たすべき責任を踏まえ、当社の“社会における存在意義”を定義した「**経営ビジョン**」を定めるとともに、特に投資信託をご活用いただくお客さま目線で重視する事項を「**プロダクトガバナンス・ポリシー**」として定め、更なる品質向上に取り組んでいます。
  - ⇒ [P.3,4 当社のお客さま本位の取組方針](#)    ⇒ [P.5 経営ビジョン](#)
  - ⇒ [P.5 プロダクトガバナンス・ポリシー](#)

## 情報提供

- お客さまが安心して資産形成を行っていただけるよう、分かりやすく適切に開示提供を行っています。また、タイムリーな情報提供やお客さまに対する情報発信等の強化に努めています。
  - ⇒ [P.11 お客さまに向けた分かりやすい情報開示](#)    ⇒ [P.12 投信実績シミュレーション](#)
  - ⇒ [P.12 運用チーム特設サイトの開設](#)    ⇒ [P.13 各商品の購入を想定するお客さま](#)
  - ⇒ [P.13 販売会社との情報連携強化](#)

## 資産形成のサポート

- 投信取引サービスmattoco+等を通じた、運用会社ならではのコンテンツ提供等により、お客さまの資産形成のサポートに取り組んでいます。
  - ⇒ [P.18 投資信託取引サービス mattoco+](#)

## コーポレートガバナンス

- 安心して資産運用をお任せいただけるような健全な企業運営の仕組みづくりに取り組んでいます。
  - ⇒ [P.6 コーポレートガバナンス体制](#)

## プロダクトガバナンス

- 商品を安心してお持ちいただけるよう、ファンドの提供価値の維持・向上に継続的に取り組んでいます。
- また、お客さまの様々なニーズに沿った商品を提供すべく、運用に係る知見の蓄積および拡大に取り組み、新商品の開発・運用を行っています。
  - ⇒ [P.5 プロダクトガバナンス・ポリシー](#)
  - ⇒ [P.8 プロダクトガバナンスに係る態勢、レポート](#)
  - ⇒ [P.7 外部の声を取り入れる仕組み](#)    ⇒ [P.10 新規設定・償還ファンド数](#)

## 運用者としての取り組み

- 運用のプロフェッショナルとして、最良の投資成果をお客さまに提供していくことをめざして運用力の高度化に取り組んでいます。
- また、スチュワードシップ活動を通じて、株主利益と持続可能な企業価値向上に努め、お客さまの利益最大化をめざしています。
  - ⇒ [P.15 KPI（運用力）](#)    ⇒ [P.16 スチュワードシップ活動](#)    ⇒ [P.17 利益相反管理](#)

## プロフェッショナルリズムの発揮・人材育成

- 社員の自律的成長を後押しする各種取り組み・人材育成に取り組んでいます。
  - ⇒ [P.17 人材育成](#)

取り組みの詳細につきましては、該当する各ページにてまとめているので、あわせてご参照ください。

● 当社は、お客さま本位の業務運営に係る取組状況を測るための具体的な指標として、以下のKPIを設定しています。

| 指標（KPI）                      | 役割               | 2025年度 実績         |                                                                         | 詳細ページ                           |
|------------------------------|------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 運用資産残高                       | お客さまからの<br>支持・評価 | 約63兆円             | 資金純流入や時価評価額の上昇等により、<br>当社の運用資産残高は増加しました。                                | ➡ <a href="#">9ページ</a>          |
| NPS<br>～顧客推奨度の評価～            |                  | 他社平均比*1<br>約+8 pt | 当社のNPSは他社平均を上回る結果となりました。今後も当社の投資信託にご満足いただけるよう、パフォーマンスや情報提供の向上に努めてまいります。 | ➡ <a href="#">14ページ</a>         |
| ファンドアワード受賞本数                 | 運用力に係る<br>外部評価   | 24 本              | 引き続き、より付加価値のある投資成果の<br>提供に向けて運用の高度化を推進してまい<br>ります。                      | ➡ <a href="#">15ページ</a>         |
| 外部評価レーティング4以上の<br>ファンド本数／占有率 |                  | 71本 / 約31%        |                                                                         | ➡ <a href="#">15ページ</a>         |
| 投資信託の販売会社における<br>比較可能な共通KPI  | 販売領域に係る<br>取組状況  | 過去4年分の<br>実績を公表   | 投資信託取引サービス「mattoco+ *2」に<br>おける過去4年分の実績を公表                              | ➡ <a href="#">19～23<br/>ページ</a> |

● 以下、最近の取組事例の一部を抜粋してご紹介します。

### ・情報提供の拡充

お客さまへの情報提供の拡充として、「投信実績シミュレーション」や「運用チーム特設サイト」を新たにリリースいたしました。

詳細は、➡ [12ページ](#)をご参照ください

### ・販売会社との連携強化

主に毎月分配型など一部の投資信託について、販売会社と販売状況に関する情報を共有しながら連携を深め、お客さまにより分かりやすく商品をご理解いただけるよう、説明内容や提供方法の見直し・改善に取り組んでいます。

詳細は、➡ [13ページ](#)をご参照ください

\*1 当社を除く国内公募株式投資信託（除くETF）の残高上位8社（2025年12月末基準）。

\*2 当社と株式会社スマートプラスが共同運営する投資信託取引サービス。mattoco+における投資信託のリスクと費用については、[こちら](#)をご覧ください。

※ 上記指標に関する詳細は、各該当ページをご参照ください。

## 三菱UFJアセットマネジメントのお客さま本位の取組方針

- 当社は、三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、MUFG）共通の指針となる「[MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針](#)」に基づき、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、当社としての「取組方針」を策定し、商品・サービスの更なる向上に取り組んでいます。

### 取組方針 1 お客さま本位の徹底

原則2・7

補充原則1・2

- 当社が果たすべきフィデューシャリー・デューティ（FD）を常に探求していく不断の取り組みこそが、“資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、より良い未来に貢献する”ことに繋がるとの考えから、FDを当社役職員に求められる思考様式・行動様式として位置づけ、全役職員でこれに取り組んでいます。
- 社会における当社の存在意義を踏まえた[経営ビジョン](#)等を制定、「顧客の

最善の利益の追求」としてお客さまの目線を重視した商品の組成・管理、品質の高い運用・情報提供を安定的かつ継続的に提供することを実践してまいります。

- 資産運用会社として経営の独立性・透明性を高めたガバナンス体制を構築するとともに、外部の意見等を取り入れる態勢を整備し、お客さまの目線からの見方・声を業務の運営や改善に反映しています。

### 取組方針 2 お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供

原則2・6

補充原則2・3・4

- お客さまの投資目的やリスク許容度を踏まえ、資産運用に係る動向もとらえた商品の開発に努めます。また、商品開発にあたっては自社の運用ノウハウを駆使するほか、国内外の幅広い運用機関ネットワークを活用し、お客さまの資産運用に資する商品ラインアップを拡充してまいります。
- それぞれの商品の想定顧客属性を特定し、目的や役割に合致した運用が継続可能かといった定期的な検証を実施するとともに、お客さまのニーズの

変化なども勘案し、最適な商品ラインアップとなるよう整備にも努めてまいります。

- 販売会社等との間で、必要に応じて販売対象となる想定顧客属性を共有し、販売状況の情報の連携を通じ、当社が想定するお客さまの保有が増えるよう取り組んでまいります。

### 取組方針 3 お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

原則4・5・6

補充原則5

- 商品に係るコストやリスク等の情報に加え、運用体制、商品のモニタリング体制について、お客さまの投資判断に資するよう分かりやすく適切に開示・情報提供を行っています。
- 商品の運用状況や相場変動時の投資環境、運用成果の向上に向けた取り組

みについて、タイムリーな情報提供に努めてまいります。

- お客さまの長期投資に役立つ資産運用のサポートや金融商品の理解に役立つコンテンツの拡充に努め、提供していきます。

## 三菱UFJアセットマネジメントのお客さま本位の取組方針

### 取組方針 5

#### お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

原則3・6

補充原則2・3・4

- 運用のプロフェッショナルとして、徹底した調査・分析と適切な運用判断により付加価値を創造し、最良の投資成果をお客さまに提供していくことをめざします。また、運用実績のモニタリングを通じ、ファンドの提供価値の維持・向上に継続して取り組んでまいります。
- 運用人材の育成・強化による強固な運用体制を構築することを通じて、運用力の更なる向上に努めます。加えて、グループ内外の運用力を活用するとともに、海外の運用機関等も活用した運用ノウハウを蓄積し、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。
- 受託者責任の観点から、運用を委託された資産の最良執行に努め、お客さまの収益拡大に寄与する取り組みの高度化をめざします。
- スチュワードシップ活動を通じてスチュワードシップ責任を果たすとともに、株主利益と持続的な企業価値の向上に努め、お客さまの利益最大化をめざします。
- 利益相反管理方針を定め、お客さまからお預かりしている資産の運用における利益相反管理の徹底に努めています。

### 取組方針 8

#### 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

原則6

補充原則3・4

- お客さまが投資運用サービスを身近に受けられる世界を実現できるよう、直販サービスの利便性向上に加え、市場動向やファンド関連の情報発信を通じ、お客さまが安心してお取引いただける態勢を整備しています。
- なお、想定するお客さまに販売ができていないのかについては定期的に検証を行うこととし、検証結果は必要に応じ、当該商品を開発・運用する者へ連携し、品質の改善・向上を図ってまいります。
- 金融リテラシー向上の取り組みを通じ、各世代の自立的な資産形成に貢献してまいります。

### 取組方針 9

#### プロフェッショナルリズムの発揮

原則2・7

- 一人ひとりがプロフェッショナル人材としてお客さまの最善の利益を追求するために、研修等を通じた知識・スキルの向上に努め、お客さまからの更なる信頼の獲得をめざします。
- 優秀な運用人材および競争力のある運用体制を構築するために、人材育成に係る環境・ツールや適切な競争を促す人事評価・報酬体系を整備してまいります。

※「取組方針」の項番「1～3、5、8～9」は、「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」の各項目「1～9」に対応しています。

※ 原則● 補充原則● は、金融庁公表の「[顧客本位の業務運営に関する原則](#)」（2024年9月26日改訂）との対応関係を示しています。（以降の各ページも同様）

- 当社が資産運用を通じ、お客さまの大切なご資金をお預かりするという役割の重要性と、社会に果たすべき責任を踏まえ、当社の“社会における存在意義”を定義した「経営ビジョン」を定めています。
- 経営ビジョンを企業活動の拠り所としながら、特に投資信託をご活用いただくお客さまの目線に立った商品・サービスの提供・品質向上に向けて重視する事項を「プロダクトガバナンス・ポリシー」として定め、お客さま本位の業務運営に取り組んでいます。

## お客さま本位の徹底 経営ビジョン

原則2・7

補充原則1

- 社会においてこうありたいという第三者的な視点に立ち、資産運用を社会インフラのひとつとして根付かせ、資産運用の拡大と共に成長していくとの想いを経営ビジョンとして策定しています。

### ◆ 経営ビジョン

## 「あなた」と「社会」の 豊かな未来に貢献する

わたしたちは、  
資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、  
より良い未来に貢献します。

三菱UFJアセットマネジメントは、プロフェッショナルとして、  
お客さまの大切なご資金を運用する資産運用会社です。  
わたしたちの「経営ビジョン」には、  
お客さまの資産形成・資産運用に貢献したい、  
持続可能な社会の実現に貢献したい、という想いが込められています。

経営ビジョン

<https://www.am.mufg.jp/corp/about/vision.html>

## お客さま本位の徹底 プロダクトガバナンス・ポリシー

原則2・5・6

補充原則1～5

- プロダクトガバナンスにおいて、お客さまの目線を重視する考え方のもと、大切にしていること、重視していることを「商品性」「運用管理」「開示」の3つの側面からポリシーとして制定し、更なる品質向上に取り組んでいます。

### ◆ プロダクトガバナンス・ポリシー

#### 商品性

現在および将来、当社の投資信託を保有いただくお客さまのニーズに沿った最適な商品の組成・提供を目指します

- 提供価値(ファンドの目的・特色)の明確化

#### 運用管理

お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているかモニタリングすることにより、投資信託を通じた提供価値の維持を目指します

- 信託報酬(運用管理費用)等控除後の運用成果のモニタリングを徹底
- 運用成果の追求に向けた取組みの徹底
- ファンドの目的・特色が十分提供できていない場合、適時適切に対応

#### 開示

お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指します

- 正確な情報をわかりやすく提供
- 様々な手段・方法で、タイムリーに情報を提供

プロダクトガバナンス・ポリシー

<https://www.am.mufg.jp/assets/pdf/corp/policy/productgovernance.pdf>

## コーポレートガバナンスの取り組み コーポレートガバナンス体制

### 補充原則1

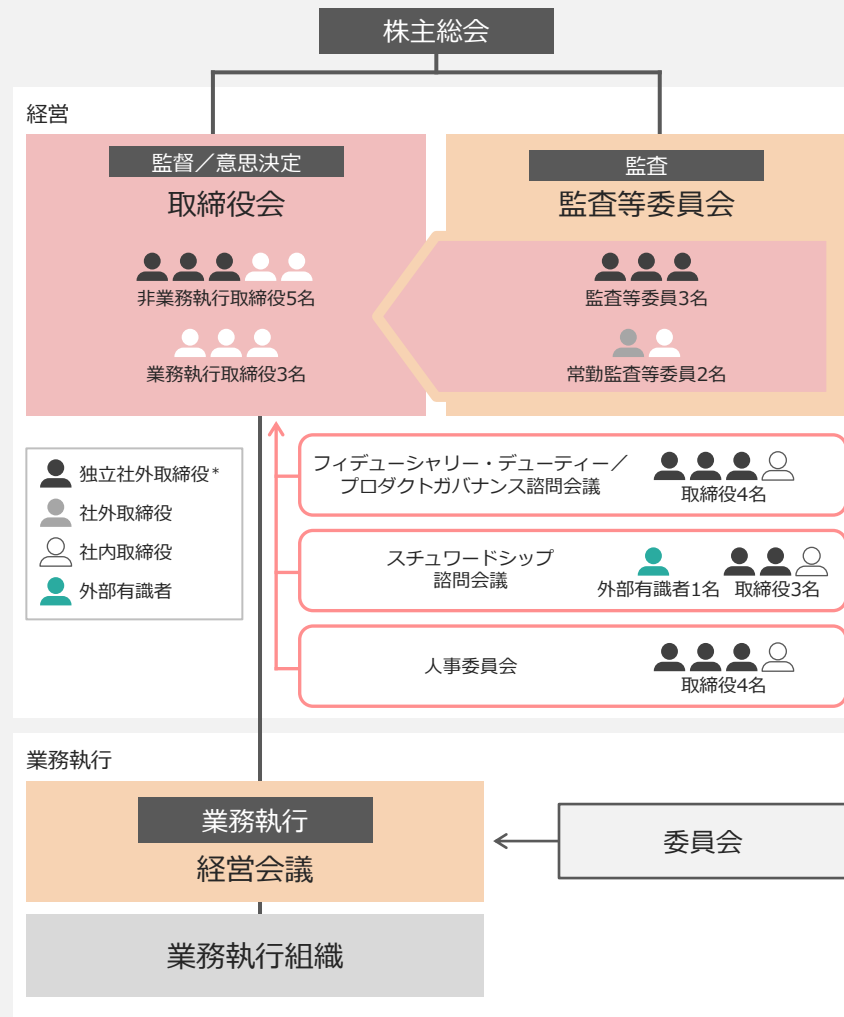
- 当社は、経営の監督・意思決定を行う取締役会と、それを監査する監査等委員会のもと、経営会議およびその傘下の各種委員会や組織で業務執行にあっています。
- また、資産運用会社としての独立性を確保するため、「社外の視点」を重視し、取締役会において社外取締役が業務の執行状況を監督するとともに、社外からの目線の導入が特に必要な取り組みについては社外取締役・外部有識者を構成員とする諮問会議等を設置して監督機能を強化することで、安定的で実効性の高いコーポレートガバナンス体制を構築しています。
- ホームページ内の「コーポレートガバナンス」のページでは、経営の透明性・客観性の向上に関する取り組みを分かりやすく伝えているほか、取締役の経歴や知見・専門性を可視化した「スキルマップ」も掲載しています。

### ◆ 取締役会傘下の会議体

- 取締役会の傘下に社外取締役・外部有識者を構成員とする以下の会議体を設置し、特定事項の審議などを通じて経営の監督を行っています。

| 会議体                             | 主な審議事項                                                                 |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| フィデューシャリー・デューティー／プロダクトガバナンス諮問会議 | ・フィデューシャリー・デューティー／プロダクトガバナンスに係る会社方針および取組みの適切性・妥当性                      |
| スチュワードシップ諮問会議                   | ・投資行動／議決権行使に係る社則や方針の適切性およびその遵守状況<br>・投資先企業との「目的を持った対話」の方針の適切性およびその活動状況 |
| 人事委員会                           | ・取締役社長、役付役員に係る指名（選任・解任）および後継者計画等                                       |

### ◆ コーポレートガバナンス 体制図



\*当社で定める「社外取締役の独立性判断基準」に基づき当社から独立性を有している社外取締役

## プロダクトガバナンスの取り組み

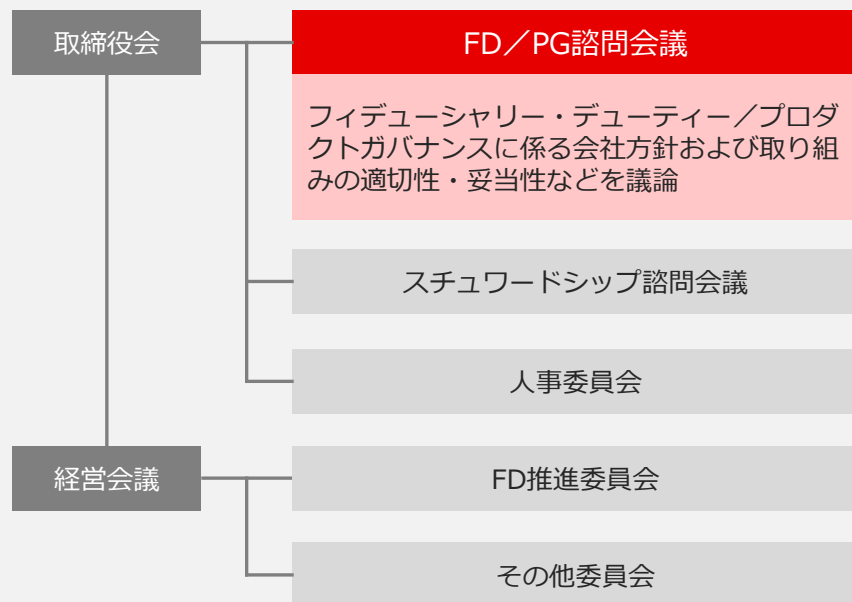
### フィデューシャリー・デューティー／プロダクトガバナンス（FD/PG）諮問会議の運営状況

#### 原則2

#### 補充原則1・2・4

- ・当社では、フィデューシャリー・デューティーとプロダクトガバナンスに係る取り組みの監督機能強化のため、取締役会傘下へ「FD／PG諮問会議」を設置・運営しています。本諮問会議は、監督的な視点の下で各種テーマに関する取り組みの更なる深化を図ることを目的としています。
- ・2025年度は、計3回開催し、社外取締役意見聴取を行い、今後さらに注力していくべき事項や議題の確認などを行っています。
- ・2026年度も引き続き、取組状況に係る議論を通じ、お客さま本位の業務運営の実現・高度化のための取り組みを進めてまいります。

#### ◆ FD/PG諮問会議の概形



#### ◆ 本諮問会議で取り扱ったテーマ（抜粋）

##### 【取組状況のより良い発信方法】

FD/PGに関する取組状況の、より分かりやすい発信方法や、KPI・各種指標の考え方など

- ・プロダクトガバナンスの進捗や当社の取組状況について、お客さまにとって、より分かりやすい伝え方などを議論

##### 【バリューマネジメント活動\*の浸透・強化】

提供価値の維持に向け、パフォーマンスの変調を早期に検知し、対応する社内体制の整備・運営状況など \*詳細はP8参照

- ・運用及び商品開発の現場と、監督側の両者によるモニタリング体制が定まり安定稼働
- ・パフォーマンス改善対応中の各ファンドの個別特性に応じた対応方針について議論

##### 【運用関連情報の発信強化・拡充】

お客さまの投資判断や当社運用体制への理解の一助となることを目的に、運用関連の開示情報を強化・拡充する方針・検討状況について

- ・運用担当者からのダイレクトな情報発信をめざすと共に、運用に係る体制や考え方などを集約した特設サイトの開設など、検討中の対応方針について議論

##### 【プロGRESSレポートで示された着眼点への対応】

金融庁が発行した「プロGRESSレポート」にて示された着眼点ごとに紹介されている「工夫がみられる事例」、「課題と考えられる事例」を参考とした検討状況など

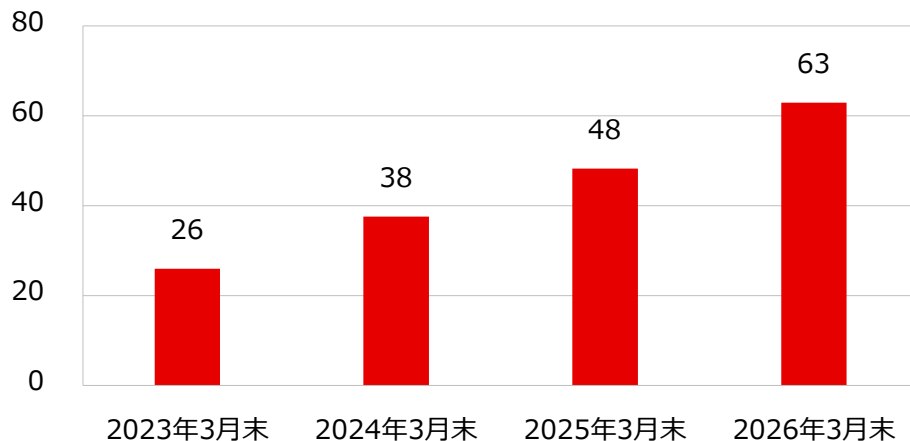
- ・課題と考えられる事例について当社の考え方・改善を要するポイントなどをまとめ、外部視点から見た対応の妥当性や潜在課題の有無を議論



&lt;KPI&gt;

## 【図1】運用資産残高（兆円）

原則2



- 運用資産残高は、投資信託残高および投資顧問契約残高の合計です。

ポイント

2024年度に引き続き、投資への関心の高まり等による資金純流入に加え、堅調な市場動向を受けた株式等の時価評価額の上昇により、当社の運用資産残高は2025年3月末比で約14.7兆円増加しました。

&lt;ご参考&gt;

## 国内公募株式投信（除くETF）純資産総額

原則2

- 当社は、お客さまの多様化する資産運用ニーズに応えるため、経験豊富な運用プロフェッショナルによる自社運用に加えて、高い目利き力による外部運用も含めた商品を開発・提供しています。
- 多くのお客さまからご支持をいただき、「国内公募株式投資信託（除くETF）」において、運用会社別純資産残高<sup>\*1</sup>およびファンド別純資産残高<sup>\*2</sup>で当社が第1位となりました。

## 運用会社別純資産残高

**第1位 三菱UFJアセットマネジメント**  
(約36兆円)

## 投資信託別純資産残高

**第1位 eMAXIS Slim 全世界株式  
(オール・カントリー)**  
(運用会社：三菱UFJアセットマネジメント)  
(約9.9兆円)

(対象：国内公募株式投資信託(除くETF))  
(基準日：2026年3月末時点)

- こうしたご支持を励みに、運用の品質向上や分かりやすい情報提供など、お客さまの最善の利益の実現に向けた取り組みを継続してまいります。

\*1 資産運用業協会HP等より三菱UFJアセットマネジメントにて調査。 \*2 NRI/Fundmark のデータを基に三菱UFJアセットマネジメントにて調査。

※ 「eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）」の[リスク](#)・[費用](#)。

&lt;ご参考&gt;

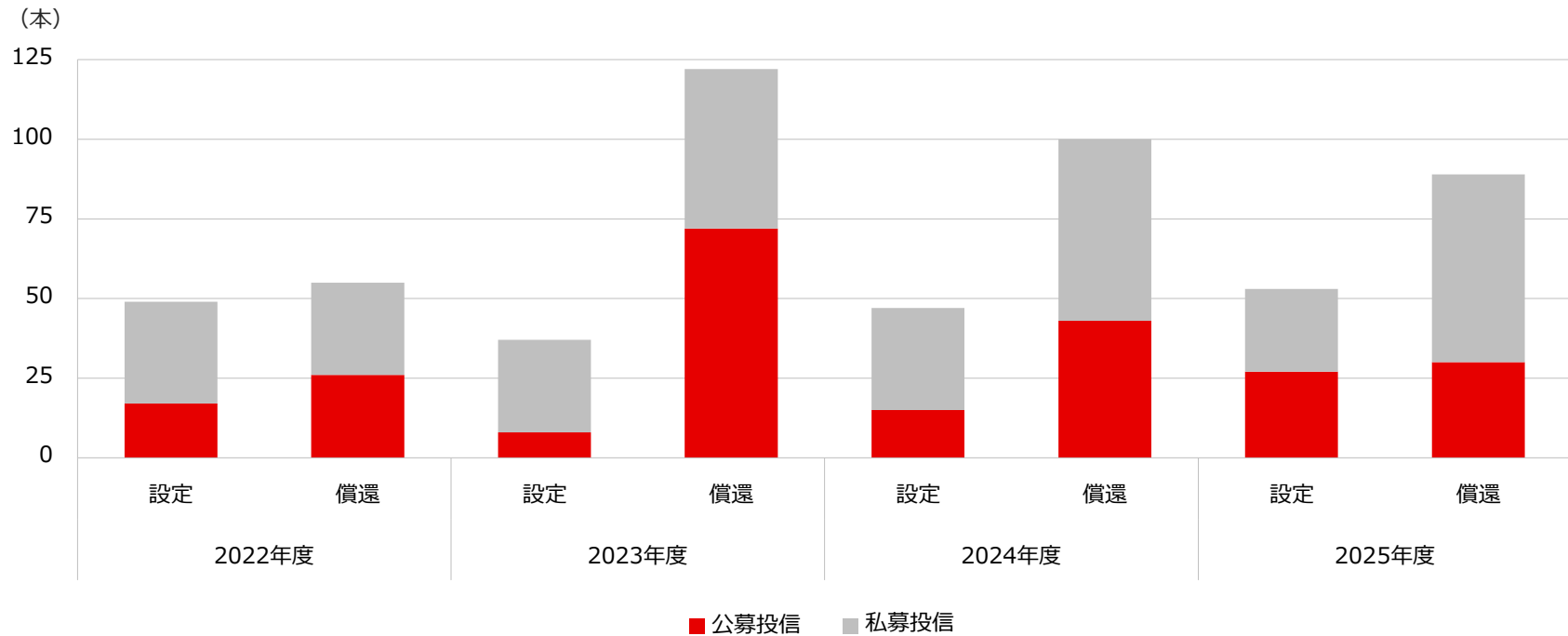
## 【図2】2022～2025年度における新規設定・償還ファンド数

原則6

補充原則4

• お客さまのニーズに沿った商品を提供するとともに、様々な投資機会の提供をめざすべく、新商品の開発・設定を行っています。また、新たな投資領域への取り組み等を通じ、運用に係る知見の蓄積および運用領域の拡大に努めています。

• 一方で、当初設定した信託期間を満了し、お客さまへの提供における役割を果たしたファンドについては、満期償還を実施しています。また、残高の減少等により、当初想定した提供価値の維持が困難と判断したファンド等については繰上償還等を行うなど、ファンドごとの品質維持・向上を目的とした取り組みを行っています。



(マザーファンドおよび外国籍投信を除く)

## 情報提供への取り組み

## お客さまに向けた分かりやすい情報開示

## 原則4・5・6

- ・当社では、商品開発・運用・情報提供等において、お客さまアンケートや外部評価機関から得られた評価結果を基に、お客さまの評価向上に繋がる活動を進めているほか、お客さまに対する情報発信等の強化に努めています。
  - ・また、金融機関として金融関連のセミナー等の開催にとどまらず、お客さまと直接対話をする機会の創設や、市場が不安定な時に適時適切なメッセージなどを発信し、お客さまが安心して長期間にわたって資産形成を行っていただけるよう、引き続きさまざまな情報をご提供してまいります。
- YouTubeチャンネル『[三菱UFJアセットマネジメント ON AIR（投信オンエア）](#)』や公式SNS（X【[@am\\_mufg\\_jp](#)】やeMAXIS LINEなど）を通じて、資産運用や積立投資等の魅力といった運用会社独自の情報をタイムリーに発信するほか、[投資環境等に関する定期的なレポートの配信](#)などを通じた情報提供に努めています。
  - お客さまの商品選定・比較の参考となるよう、販売会社を通じて「重要情報シート」を提供しています。商品毎に、運用方針等の基本的情報や運用会社として想定している顧客属性を明示し、投資目的に沿った商品選定をサポートできるよう情報提供に努めています。

## ◆ 投資家との交流の機会の創出

- ・当社は2009年頃から継続して、投資家と直接対話をする機会を創出しています。
- ・資産運用会社として直接投資家の声を聞くことにより、いただいたご意見を商品開発や月報などの開示物に反映させることで、投資家目線の商品・サービスの提供に繋がっています。

## ブロッガーミーティング

- 年3回程度、本社会場とオンラインのハイブリッド参加方式で開催
- 応募者は誰でも参加でき、個人投資家を中心として、毎回200名程度が参加
- 投資信託の話や、その時々の方勢に応じたトピックスなどを取り上げるほか、投資家との情報交換の場としています



## eMAXISファンミーティング

- 日頃のご愛顧への感謝を込めて、会場とオンラインのハイブリッド参加方式で1年～1年半に1回開催
- 投資経験の長い方から、投資を始めたばかりの方、投資未経験者まで幅広い層の方が参加
- 構成するプログラムは初心者向けの内容で構成し、多くの社員が出演するなど、投資や運用会社を身近に感じていただけるよう工夫



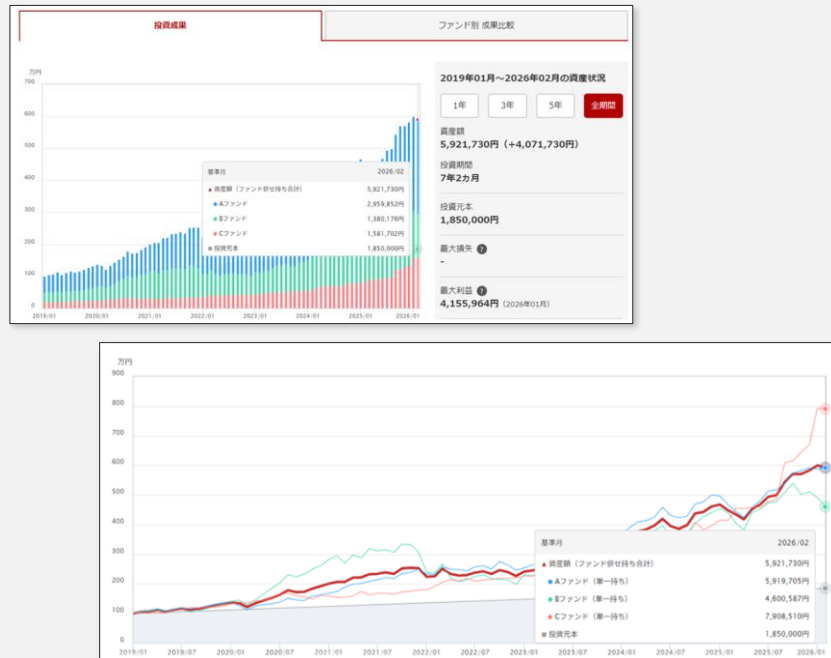
## 情報提供への取り組み 投信実績シミュレーション

原則5・6

補充原則5

- 2026年3月、ホームページ内に、新たに「投信実績シミュレーション」をリリースしました。当シミュレーションは、より現実的な資産形成をイメージいただくことを目的として、当社ファンドや指数について、一定期間投資を行った場合の過去の実績をもとに、投資成果を試算できる機能となっています。

### ◆ 投信実績シミュレーション イメージ図



投信実績シミュレーション

[https://www.am.mufig.jp/tool/simulation\\_jisseki.html](https://www.am.mufig.jp/tool/simulation_jisseki.html)

※本機能のご利用にあたっては、当該サイト内の[留意事項](#)をご確認ください。

## 情報提供への取り組み 運用チーム特設サイトの開設

原則5・6

補充原則5

- 2026年4月、ホームページ内に、新たに「運用チーム特設サイト」（以下、本サイト）を開設しました。本サイトは、近年の制度・経済環境の変化や個人投資家層の広がりを踏まえ、当社の運用の考え方やその背景を、より分かりやすくお伝えすることを目的として開設したものです。
- 本サイトでは、当社運用部に所属する7つの運用チームと代表ファンドについて、各チームの運用哲学や運用プロセス、意思決定の考え方をご紹介するとともに、所属ファンドマネジャーのインタビュー等を掲載しており、「チーム」と「人」についてご理解を深めていただくことをめざしています。



三菱UFJアセットマネジメントの運用チームの紹介

[https://www.am.mufig.jp/investment\\_policy/organization/teams/](https://www.am.mufig.jp/investment_policy/organization/teams/)

三菱UFJアセットマネジメントの運用体制

[https://www.am.mufig.jp/investment\\_policy/organization/](https://www.am.mufig.jp/investment_policy/organization/)

## 情報提供への取り組み

## 当社が考える各商品の購入を想定するお客さま

原則5・6

補充原則3・4・5

- 2025年3月、ホームページへ、当社が考える各商品の購入を想定するお客さまに関する情報の掲載を開始しました。
- 商品に、商品理解の難易度などに基づいたランクを付与し、その商品の購入を想定するお客さまを、投資経験や投資知識の観点から4つに分けてご案内しており、これにより、お客さまの商品選びのお手伝いができるものと考えています。
- なお、当社が主に、投資経験および投資知識が十分にあるお客さまの購入を想定している、商品リスクのランクが高いと考える商品については、対象商品のリストを併せて掲載し、ご判断の参考となるようにしています。

**当社が考える、各商品の購入を想定するお客さまについて**

商品を購入する3つのステップ（アセットマネジメント）では、商品理解の難易度などに基づいて分類した商品リスクランク（詳細後述）に応じて、その商品の購入を想定するお客さまを、投資経験や投資知識の観点から4つに分けてご案内しております。

具体的には、「A. 投資経験がない方」「B. 投資経験がないが資産形成により購入される方」「C. 投資経験がある方、または投資知識が十分にある方」「D. 投資経験および投資知識が十分にある方」の4つになります。

※ 資産形成とはつみたて投資などによる購入を想定しています。

下記の図にて、各商品リスクランクのどの範囲に当てはまるお客さまが、当社がその商品の購入を想定しているお客さまになります。

なお、当社では、主に適当なリスク（対象資産と適当なコースが異なるもの）などの商品理解の難しい商品などを、商品リスクランク「3」としてしています。

**ご参考：商品リスクランクについて**

商品リスクランクは当社が価格変動リスクおよび商品理解の難易度から判定しております。各商品リスクランクのイメージは以下の通りです。

**商品リスクランク「1」**

値動きが限定的で、かつ、投資家が新聞（一紙紙）を読むことなどにより、補足説明がなくても商品性が理解できると考えるファンド。主に、国内債券、先進国債券（為替ヘッジ付き）などを投資対象とするファンドです。

**商品リスクランク「2」**

値動きが一般的なリスク資産（株、為替）と同程度で、自己の知識と、資料等の補足情報を得ることで商品性が理解できると考えるファンド。商品リスクランク「1」または「3」以外の商品になります。

**商品リスクランク「3」**

値動きが相対的に高いと判断され、販売員からの補足説明を得ることにより商品性が理解できると考えるファンド。主に適当なリスク（対象資産と適当なコースが異なるもの）や、レバレッジ取引（先物取引等）を利用し投資金額の数倍の取引を行うことを行うファンドなどが該当します。

当社が主に、投資経験および投資知識が十分にあるお客さま（区分D）の購入を想定している、商品リスクランク「3」の主なファンドは以下の通りです。

投資経験または投資知識が十分ではないとお考えのお客さまは、ご購入に際しては、慎重なご判断が必要（ご購入に遠ざかる可能性がある）と考えております。

※ 赤線は、リスクランク「3」のファンドが想定するお客さまの範囲を示しています。

各商品の購入を想定するお客さまに関する情報  
<https://www.am.muufg.jp/corp/policy/matrix.html>

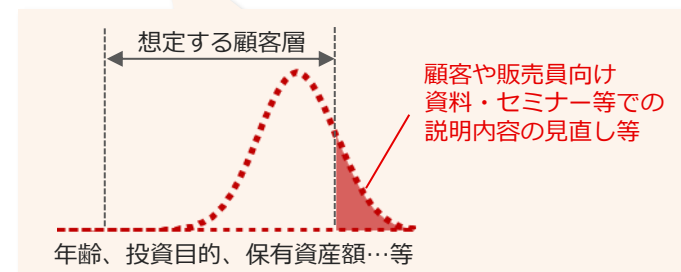
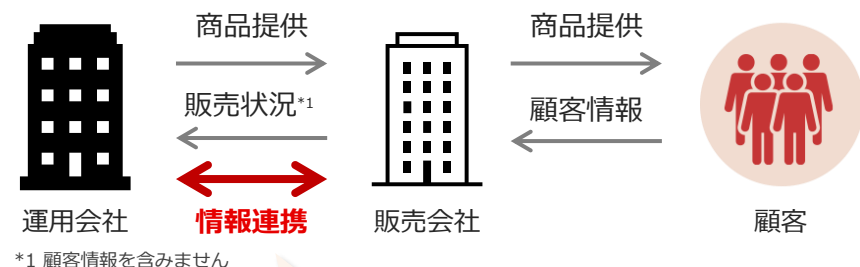
## 情報提供への取り組み

## 販売会社との情報連携強化

原則6

補充原則3・4・5

- 当社では、投資信託をご購入いただくお客さまに、より分かりやすく、安心して商品をお選びいただけるよう、運用会社と販売会社が連携した商品管理の高度化に取り組んでいます。
- この取り組みは、業界共通の考え方に基づき、投資信託がその特性やリスクに応じて、適切なお客さまに提供されているかを継続的に確認し、必要に応じて改善につなげていく仕組み（プロダクトガバナンス）を強化するものです。
- 具体的には、主に毎月分配型など一部の投資信託を対象とし、販売状況に関する情報を販売会社と共有することで、商品説明の分かりやすさや提供方法の見直し・改善に役立てています。
- 当社は今後も、販売会社との連携を大切にしながら、お客さまに安心して長くご利用いただける商品提供体制の構築に努めてまいります。

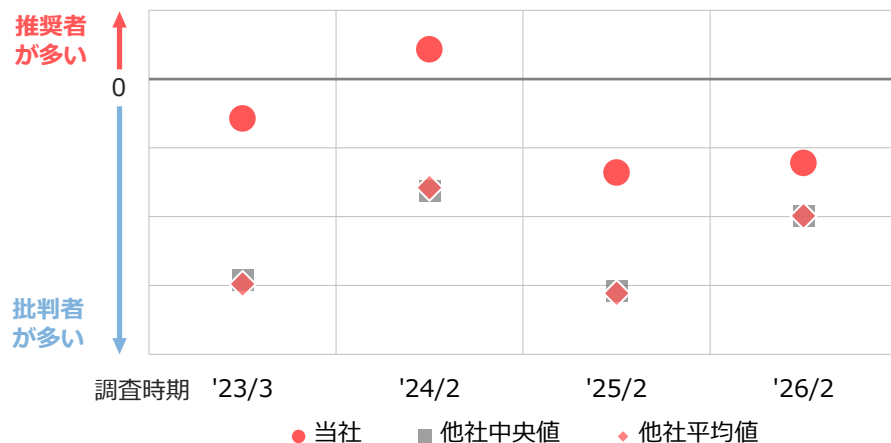


## &lt;KPI&gt;

## 【図3】 NPS ～顧客推奨度の評価～

原則4・5・6

## ◆ 商品に関する顧客推奨度 ～当社NPSと他社NPSの平均値・中央値～



## ポイント

- ・推奨者と批判者の差分を測定するNPS調査では、一般的には、推奨者が批判者を上回っている状態を示す「0」以上の評価が得られる業種は多くありません。
- ・その中で、当社NPSは他社平均値比で高い結果を得ています。
- ・今後も当社の投資信託にご満足いただけるよう、パフォーマンスや情報提供の向上に努めてまいります。

※国内公募株式投信（除くETF）残高上位9社（2025年12月末基準）を対象とし、各社のファンドを保有していると回答した受益者（2,511名）を対象に、調査会社株式会社マクロミルに委託しインターネット調査を行っています。

※各調査期間は次の通り。

'23/3：2023年3月3日～3月6日、'24/2：2024年2月29～3月1日

'25/2：2025年2月25日～2月26日、'26/2：2026年2月10日～2月12日

※全国20～79歳の男女、対象運用会社の投信を3年以内に購入した投資家を対象に調査しています。

※当社を除く国内公募株式投資信託（除くETF）の残高上位8社（2025年12月末基準）の平均値を「他社平均値」、中央値を「他社中央値」として記載しています。

※NPS®は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標又はサービスマークです。

- ・NPS（Net Promoter Score）とは、下記の簡単な質問から顧客ロイヤリティを測る調査方法です。



0～10点で表すとして、〇〇（評価対象）を友人や同僚に薦める可能性は どのくらいありますか？

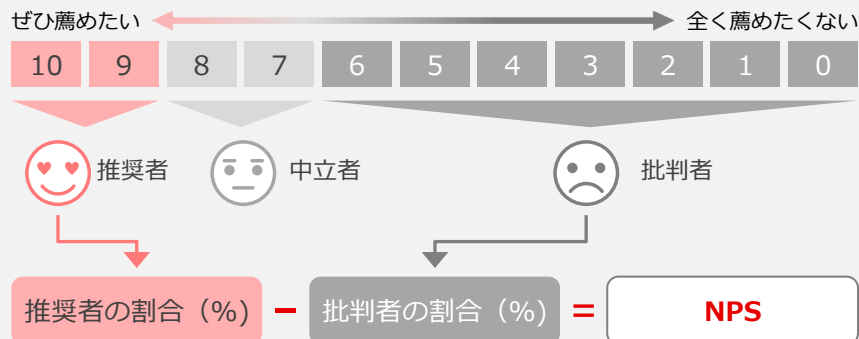
- ・この質問において、10-9点と評価した割合（推奨者）から6-0点と評価した割合（批判者）を引いた値がNPSとなります。
- ・本調査では当社を含む運用会社各社の投資信託をお持ちのお客さまに対して、



〇〇（運用会社名）の商品について、あなたは友人や知人にどの程度薦めますか。ぜひ薦めたい：10点、全く薦めたくない：0点として、11段階から選択してください。

… と質問し、各社のNPSを調査しました。

## ◆ NPSの測定手法 イメージ



例①：〔推奨者の割合：25%〕 - 〔批判者の割合：15%〕 = NPS：+10

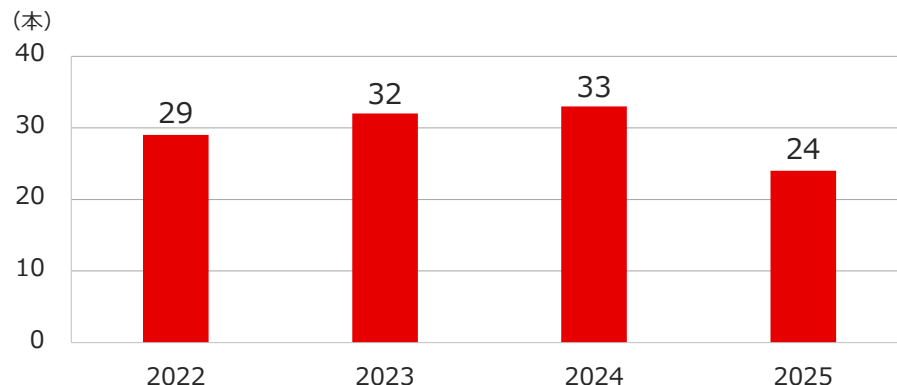
例②：〔推奨者の割合：15%〕 - 〔批判者の割合：20%〕 = NPS：-5

## &lt;KPI&gt;

## 【図4】 ファンドアワード受賞本数（本）

## 原則6

- ・当社が提供する商品の運用力を示す一つの指標として、定量・定性評価で優れたファンドに送られる各種ファンドアワードの受賞本数の合計をお示ししています。
- ・ファンドアワードは、下記3種のアワードを対象に集計しています。  
「R&Iファンド大賞」  
「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン」  
「個人投資家が選ぶ！ Fund of the Year」
- ・良好な運用成果を上げ、定量面で評価されたファンドの他、有識者や個人投資家による投票で定性面が評価されたファンドなど、アクティブファンド、インデックスファンドを問わず、多くのファンドで評価をいただいています。

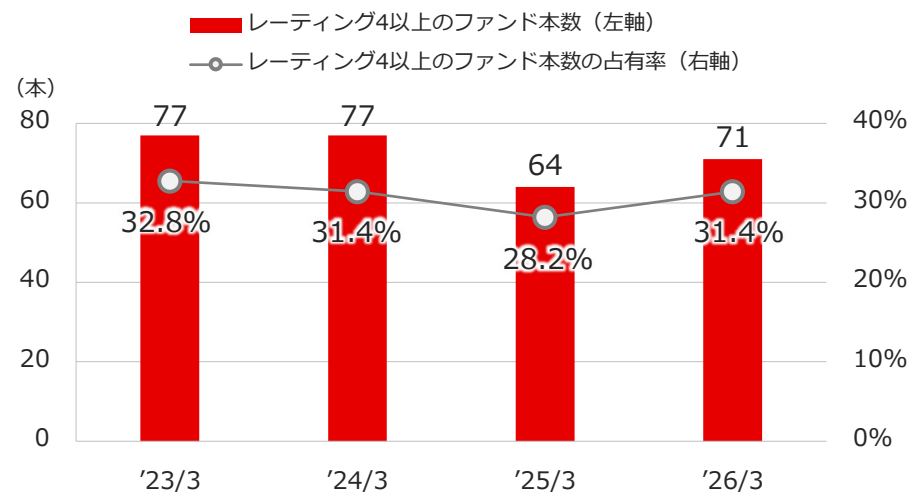


## &lt;KPI&gt;

## 【図5】 レーティング4以上のファンド本数／占有率

## 原則6

- ・当社の運用力の結果を表す指標として、株式会社野村総合研究所が公表している「Fundmark投信評価レポート」において、当社の投資信託に付与されているFundmarkレーティング（以下「レーティング」）による評価（評価期間：3年）を使用しています。
- ・所定要件に該当するファンドを、特性の近い分類の中で比較し、5段階で評価されますが、レーティング4以上であれば同分類の中で上位33%に入っていることを意味しており、該当するファンド本数と占有率をKPIとしてお示しします。



## ポイント

2025年度は、ファンドアワード受賞本数(図4)が前年から減少したものの、レーティング4以上のファンド本数・占有率(図5)は前年差で増加しました。引き続き、より付加価値のある投資成果の提供に向け、運用の高度化を推進してまいります。

※ 各アワードの詳細および、Fundmarkレーティングについては巻末ディスクレーマー参照。

※ 当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

## 運用者としての取り組み スチュワードシップ活動

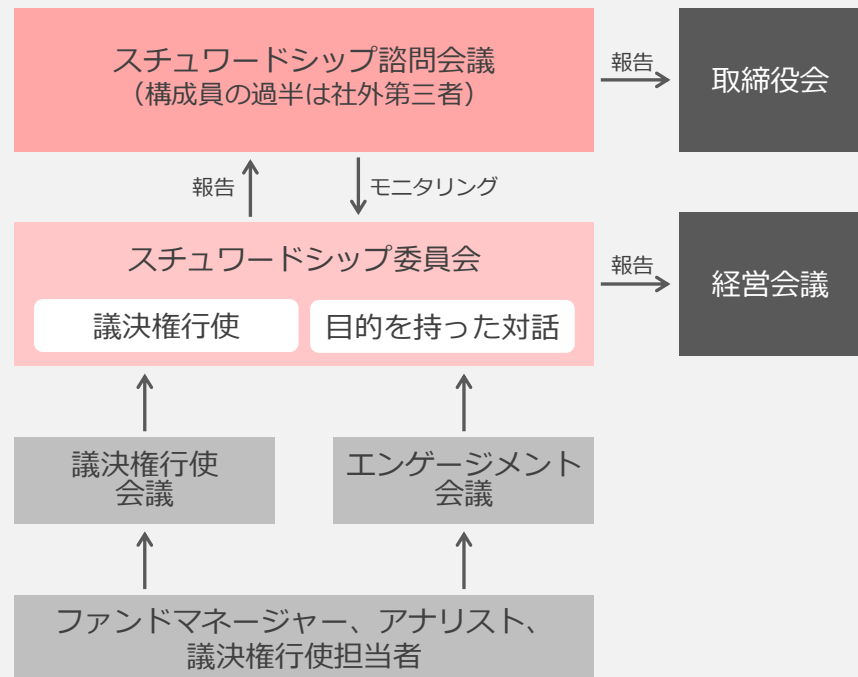
### 原則3

- 当社は、お客さまから委託された資産の運用を行う立場として、投資家（受益者）の長期的な利益の最大化を最重要の責務と位置づけています。
- 当社のスチュワードシップ活動は、エンゲージメント（目的を持った対話）と議決権行使から構成されています。これらの活動を通じて、投資先の持続的な企業価値向上を促進し、ひいては受益者のみなさまの中長期的な投資成果の拡大を図ることが当社の使命であると考えています。
- これらの取り組みに係る、スチュワードシップ活動報告書（年次）や議決権行使の考え方、議決権行使結果（四半期）等を[ホームページ](#)にて公表しています。
- また当社は、責任ある機関投資家として適切に受託者責任を果たすため、「責任ある機関投資家」の諸原則「日本版スチュワードシップ・コード」の受入を既に表明していますが、より一層のガバナンス強化を目的として、「スチュワードシップ諮問会議」を設置しています。
  - ✓ 本諮問会議では、お客さまから委託された資産の運用における議決権行使や投資先企業との「目的を持った対話」および投資行動が、投資家の利益最大化を確保するために十分かつ適切であることを検証しています。独立性・中立性を確保するため、取締役会が指名する議長を含めたメンバーで構成し、構成員の過半を社外第三者から選任しています。
  - ✓ 本諮問会議による検証結果は取締役会へ報告しています。

### ◆ 諮問会議・委員会の構成等

|               | 役割・目的                                    | 委員長・議長   | 構成メンバー                                                                     |
|---------------|------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| スチュワードシップ諮問会議 | スチュワードシップ活動に関する適切性に係る事項および、利益相反管理状況の審議   | 社外取締役    | 社外取締役、社外有識者、法務・コンプライアンス部所管役員                                               |
| スチュワードシップ委員会  | スチュワードシップ活動に係る方針・ガイドラインの制定・改廃、活動状況の報告と審議 | 運用部門所管役員 | 運用部門所管役員、運用部門執行役員、法務・コンプライアンス部所管役員、運用企画部長、サステナブル投資推進部長、運用各部長、法務・コンプライアンス部長 |

### ◆ スチュワードシップ活動のガバナンス体制



## 運用者としての取り組み 利益相反管理

### 原則3

- 当社は、利益相反管理方針を定め、役職員一同がこれを遵守することによって、お客さまの利益を不当に害することがないように、また、MUFG フィデューシャリー・デューティー基本方針に基づき、お客さま本位の業務運営を実現することができるよう、万全を尽くしています。
- 特に、当社は異なるビジネスを営む複数の企業から構成されるMUFGに属し、様々な利益相反が発生するリスクがあることを踏まえ、常に全役職員が利益相反によるお客さまへの不利益が生じることを回避し、顧客保護を図ります。

### ◆ 当社HP利益相反管理方針

#### 利益相反管理方針

三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下、「当社」と言います。）は、利益相反管理方針を定め、お客さまのために行う取引について、お客さまの利益と当社を含むMUFGグループ（以下、「当グループ」と言います。）企業全体の利益、又はお客さま同士の利益が競合・対立することなどにより、お客さまの利益を不当に害することがないよう、利益相反の弊害防止に取り組んでいます。また、当社は、MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づき、常にお客さま本位の考え、公正・透明な企業活動を誠実に行っています。なお、当社の定める利益相反管理方針の概要は以下の通りです。

#### 第一章 当社における利益相反管理

##### 1 基本的な考え方

当社は投資運用業や投資助言業、第二種金融商品取引業を営むとともに、お客さま本位の業務運営を行う相対行為を特定し、排除できる態勢を構築し利益相反を踏まえ、当社は、常に、全役職員が利益相反に

#### 第二章 当社が属するMUFGグループの主な利益相反管理対象会社等

##### 1 利益相反管理の対象となる会社の範囲

MUFGではMUFGに属する管理対象業務を行う会社を利益相反管理の対象とする会社とし、管理体制を整備しております。当社以外を対象となる会社の代表例は、以下のとおりです。

株式会社三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 三菱UFJ eスマート証券株式会社

##### 2 MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づく利益相反管理

MUFGでは、MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針の「4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備」及び「5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化」に基づき、以下の点等に留意しつつ、利益相反を適切に管理しております。

- ① お客さまの資産形成に資する商品選定および販売手続き等の整備
- ② 運用業務における独立性・透明性の確保

上述のMUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づく取組みを実施する会社の代表例は、以下のとおりです。

株式会社三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 三菱UFJ eスマート証券株式会社 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 三菱UFJ不動産投資顧問株式会社

## プロフェッショナルリズムの発揮に向けた取り組み 人材育成

### 原則2・7

- 当社は、運用会社として、「お客さまの資産形成・資産運用への貢献」および「持続可能な社会の実現」に向け、経営資本である「人」の力を高めることが最も重要であると考えています。
  - ✓ 社員一人ひとりの多様性を活かし、能力・専門性・貢献度に応じた適正かつ柔軟な処遇をめざし、人事制度を整備しています。また社員の専門性向上に向け、証券アナリストを含む資格取得支援制度や、海外関連会社への出向やトレーニー派遣を通じた、運用関連スキルの育成を促しています。
  - ✓ こうした取り組みの徹底により、「多様な社員が高い専門性を発揮できる」会社としての変革を進め、お客さまに提供する価値の最大化をめざしています。
- また、アクティブファンドの運用に従事するファンドマネジャーの人事・報酬制度について、2025年4月に改定を行いました。
  - ✓ 運用成績と賞与の連動性を高めることに加え、ファンドマネジャーの報酬の一部を、自身が運用するファンドの運用成績と連動させることで、投資家のみならずと利益の共有を行い、投資家目線の運用に努めています。
  - ✓ また、日系同業他社との比較でもトップクラスとなるような報酬水準を実現し、優秀な運用人材の育成・確保にも注力しています。

### ◆ 全社的なAI・デジタル活用を通じた専門人材の育成・確保

- 当社は、AIやデジタル技術を活用することで、運用力の更なる強化、業務効率化を図ると共に、お客さまへの提供価値の向上に取り組んでいます。
  - ✓ こうした取り組みを組織的に支える観点から、2026年1月に、AI・デジタルに関する戦略・企画の立案及びAI・デジタル技術の利活用推進を専担する部署を新設しました。
  - ✓ 同部署の設立により、全社的なAI・デジタルに関する取り組みを一層強化・加速するとともに、専門人材の育成・確保を進めてまいります。

## 資産形成のサポートに向けた取り組み 投資信託取引サービス **mattoco+**

### 原則6

- 当社は、資産運用を取り巻く環境変化に備えるとともに、投資家のみなさまと直接つながりを持つことを目的とし、初めて投資する方や投資経験の少ない方にも、投資を身近に感じていただけるよう2019年3月にインターネットの直販サービスである“mattoco（マットコ）”を開始・提供してまいりました。
- 2024年10月、“mattoco”をリニューアルし、株式会社スマートプラスとともに、新しい投資信託の取引サービス“**mattoco+（マットコプラス）**”を開始いたしました。“mattoco+”においても、本サービスをご利用いただく投資家の皆さまの資産形成を見据え、厳選したファンドラインナップの提供や、運用会社ならではのセミナーやコンテンツ等の情報提供により、「投資信託を通じて、お客さまの将来のための長期資産形成をサポートする」という“mattoco”のコンセプトを継続しています。
- 2026年3月末時点で、“mattoco+”では41本の商品を提供しており、“mattoco+”でしか購入いただけないオリジナルファンドとして、「**百戦錬磨の名人ファンド**」をご提供しています。その他、目的実現のためにお客さまが投資のプランを考える際の参考情報として、入力した前提に基づいたシミュレーションをご提示する支援ツールや、ファンドにまつわるトピックや運用会社を身近に感じていただける情報をお届けする「**投資を知る・学ぶ**」など投資がより身近なものになっていただけるようなコンテンツを提供しています。
- 株式会社スマートプラスのプラットフォームを活用し、シンプルで、始めやすく、続けやすい資産運用サービスをめざしてまいります。



### サービスのポイント



#### 資産形成に向けた 厳選ラインナップ

～NISAで支持されるeMAXIS Slimをはじめ、  
長期の資産形成に適したファンドを  
取り揃えています～

始めやすい。続けやすい。  
**eMAXIS Slim**  
イーマキシス スリム



運用会社

#### 三菱UFJアセットマネジメントが 資産形成を全力サポート

～三菱UFJアセットマネジメントのファンドマネジャーの  
声を届けるセミナーやイベント、SNSでの情報発信等、  
運用会社ならではのサポートを展開します～



#### 資産形成を 投資信託でシンプルに

～運用会社がフィンテック企業とコラボすることで、  
投資信託を用いたシンプルでわかりやすい  
資産形成サービスをご提供します～

初心者でも  
わかりやすい



※ mattoco+における投資信託のリスクと費用については、[こちら](#)をご覧ください。

※ 「百戦錬磨の名人ファンド」の[リスク・費用](#) ※ eMAXIS Slimの[リスクとお客さまにご負担いただく費用について](#)

- 2018年6月に金融庁から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」（以下、共通KPI）を踏まえ、当社と株式会社スマートプラスが共同運営する投資信託取引サービス「mattoco+」の実績を公表します。
- お示ししている共通KPIの定義・算出方法の詳細は、金融庁ホームページにてご確認ください。（以下、金融庁への外部リンクとなります）
  - ✓ [金融庁による投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについての発表](#)
  - ✓ [投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIの定義](#)
- 投資信託取引サービス「mattoco+」における、過去4年（2023年／2024年／2025年／2026年 各3月末時点）の運用損益をお示ししています。

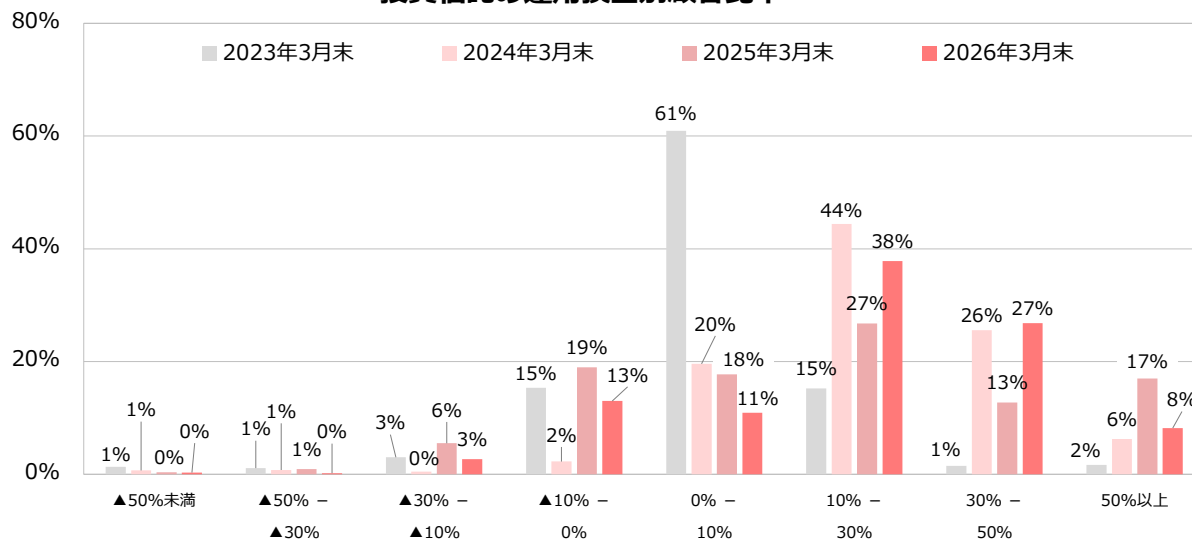
### <共通KPI>

## 【図6】投資信託運用損益別顧客比率

投資信託取引サービス「mattoco+」

原則6

投資信託の運用損益別顧客比率



- 金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」として毎年3月末時点の指標を、2022年より公表しています。
- 当社と株式会社スマートプラスが共同運営する投資信託取引サービス「mattoco+」で投資信託をご購入いただいたお客さまの2023年3月末以降の運用損益状況をお示ししています。

### ポイント

- 2026年3月末時点において、運用益が出ているお客さまの比率は約84%でした。
- mattoco+では、積立投資をご利用されているお客さまも多く、短期的なマーケットの変動に大きく影響されていないことが、要因の一つと考えられます。

※「mattoco+」について：当社と株式会社スマートプラスが、インターネット等を通じ、当社の投資信託に関する情報及び投資信託を取引する際に参考となる投資関連情報を提供するスマートプラスの証券口座において、お客さまが、三菱UFJアセットマネジメントが提供する投資信託の購入・換金等を行うことのできるサービス。

※ mattoco+における投資信託のリスクと費用については、[こちら](#)をご覧ください。

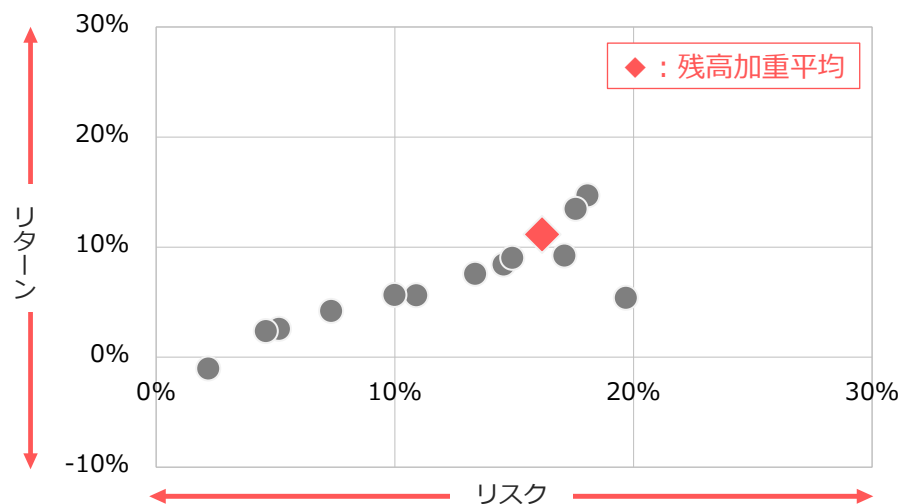
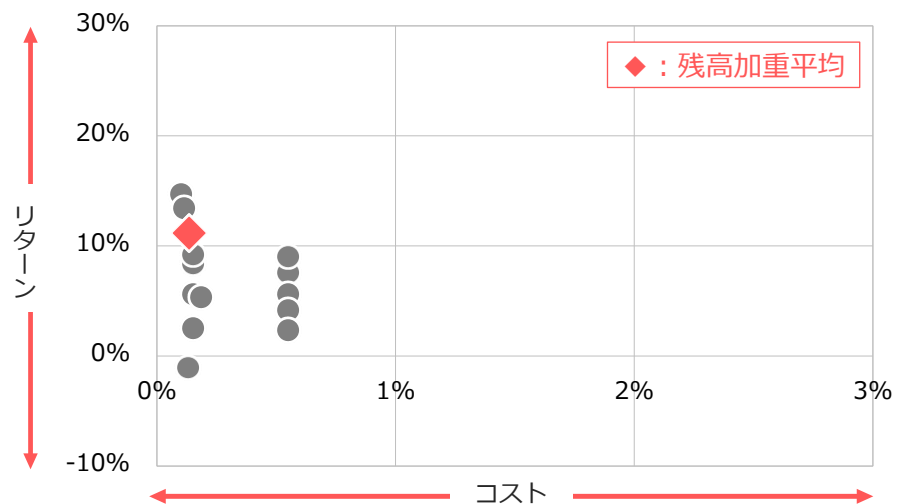
※上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## &lt;共通KPI&gt;

## 【図7】 投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2023年3月末）

## 投資信託取引サービス「mattoco+」

原則6



|    | 銘柄名                        | コスト   | リスク    | リターン   | (リスク) | (費用) |
|----|----------------------------|-------|--------|--------|-------|------|
| 1  | eMAXIS Slim 先進国株式インデックス    | 0.10% | 18.07% | 14.68% | ■     | ■    |
| 2  | eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）    | 0.11% | 17.58% | 13.44% | ■     | ■    |
| 3  | eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）   | 0.15% | 10.90% | 5.61%  | ■     | ■    |
| 4  | eMAXIS Slim 国内株式（日経平均）     | 0.15% | 17.10% | 9.21%  | ■     | ■    |
| 5  | eMAXIS Slim 新興国株式インデックス    | 0.19% | 19.68% | 5.37%  | ■     | ■    |
| 6  | eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）    | 0.15% | 14.57% | 8.39%  | ■     | ■    |
| 7  | eMAXIS Slim 先進国債券インデックス    | 0.15% | 5.16%  | 2.54%  | ■     | ■    |
| 8  | eMAXIS Slim 国内債券インデックス     | 0.13% | 2.19%  | -1.06% | ■     | ■    |
| 9  | eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）   | 0.55% | 14.92% | 9.01%  | ■     | ■    |
| 10 | eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）    | 0.55% | 13.37% | 7.56%  | ■     | ■    |
| 11 | eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー） | 0.55% | 10.00% | 5.62%  | ■     | ■    |
| 12 | eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）  | 0.55% | 7.33%  | 4.18%  | ■     | ■    |
| 13 | eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）  | 0.55% | 4.59%  | 2.34%  | ■     | ■    |
|    | 残高加重平均（◆）                  | 0.14% | 16.17% | 11.15% |       |      |

※ 上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

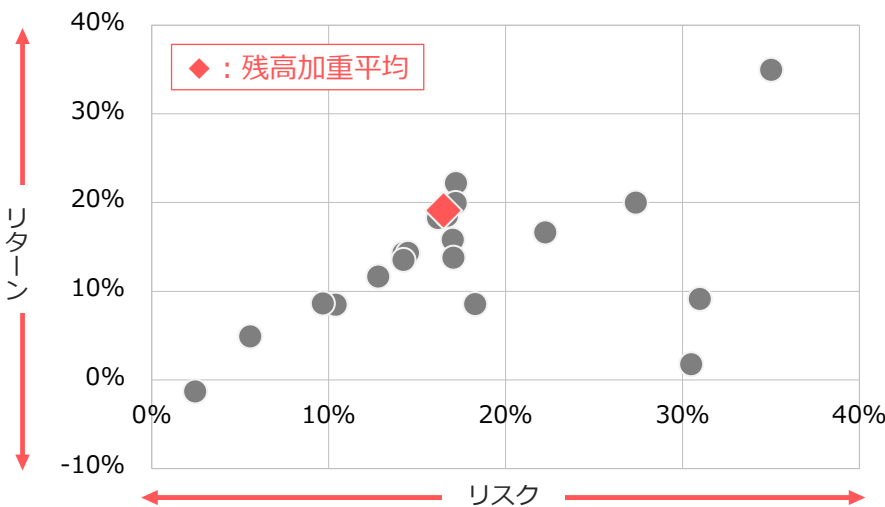
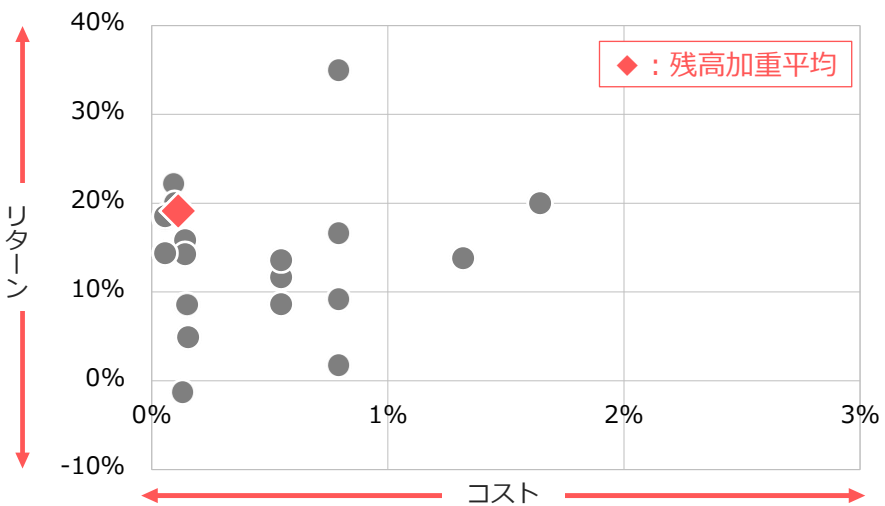
※ コスト、リスク、リターンの定義については、[こちら（金融庁HP）](#)をご参照ください。

<共通KPI>

【図8】投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2024年3月末）

投資信託取引サービス「mattoco+」

原則6



|    | 銘柄名                           | コスト   | リスク    | リターン   | (リスク) | (費用) |
|----|-------------------------------|-------|--------|--------|-------|------|
| 1  | eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)     | 0.09% | 17.19% | 22.19% | ■     | ■    |
| 2  | eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー) | 0.06% | 16.18% | 18.23% | ■     | ■    |
| 3  | eMAXIS Slim 先進国株式インデックス       | 0.10% | 17.17% | 19.95% | ■     | ■    |
| 4  | eMAXIS Slim 全世界株式 (除く日本)      | 0.06% | 16.70% | 18.49% | ■     | ■    |
| 5  | eMAXIS Slim バランス (8資産均等型)     | 0.14% | 10.40% | 8.46%  | ■     | ■    |
| 6  | eMAXIS Slim 国内株式 (日経平均)       | 0.14% | 17.02% | 15.81% | ■     | ■    |
| 7  | eMAXIS Slim 新興国株式インデックス       | 0.15% | 18.28% | 8.53%  | ■     | ■    |
| 8  | eMAXIS Slim 国内株式 (TOPIX)      | 0.14% | 14.22% | 14.27% | ■     | ■    |
| 9  | eMAXIS Slim 先進国債券インデックス       | 0.15% | 5.57%  | 4.89%  | ■     | ■    |
| 10 | eMAXIS Slim 全世界株式 (3地域均等型)    | 0.06% | 14.49% | 14.33% | ■     | ■    |
| 11 | ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド         | 1.64% | 27.37% | 19.98% | ■     | ■    |
| 12 | これぞ、日本株                       | 1.32% | 17.05% | 13.78% | ■     | ■    |
| 13 | eMAXIS Slim 国内債券インデックス        | 0.13% | 2.46%  | -1.31% | ■     | ■    |
| 14 | eMAXIS 最適化バランス (マイミッドフィルダー)   | 0.55% | 9.68%  | 8.62%  | ■     | ■    |
| 15 | eMAXIS 最適化バランス (マイフォワード)      | 0.55% | 12.81% | 11.66% | ■     | ■    |
| 16 | eMAXIS Neo バーチャルリアリティ         | 0.79% | 35.02% | 34.94% | ■     | ■    |
| 17 | eMAXIS Neo 宇宙開発               | 0.79% | 22.25% | 16.61% | ■     | ■    |
| 18 | eMAXIS 最適化バランス (マイストライカー)     | 0.55% | 14.24% | 13.53% | ■     | ■    |
| 19 | eMAXIS Neo 遺伝子工学              | 0.79% | 30.50% | 1.74%  | ■     | ■    |
| 20 | eMAXIS Neo ナノテクノロジー           | 0.79% | 30.98% | 9.14%  | ■     | ■    |
|    | 残高加重平均 (◆)                    | 0.11% | 16.50% | 19.11% |       |      |

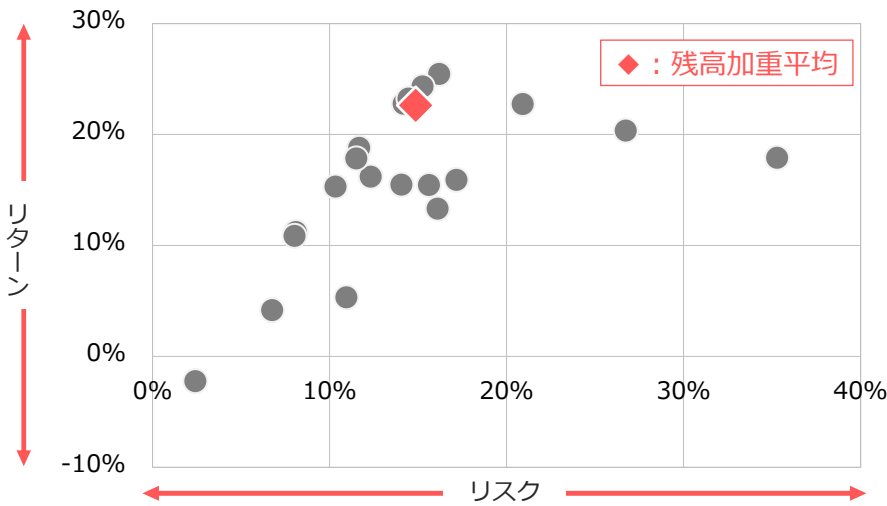
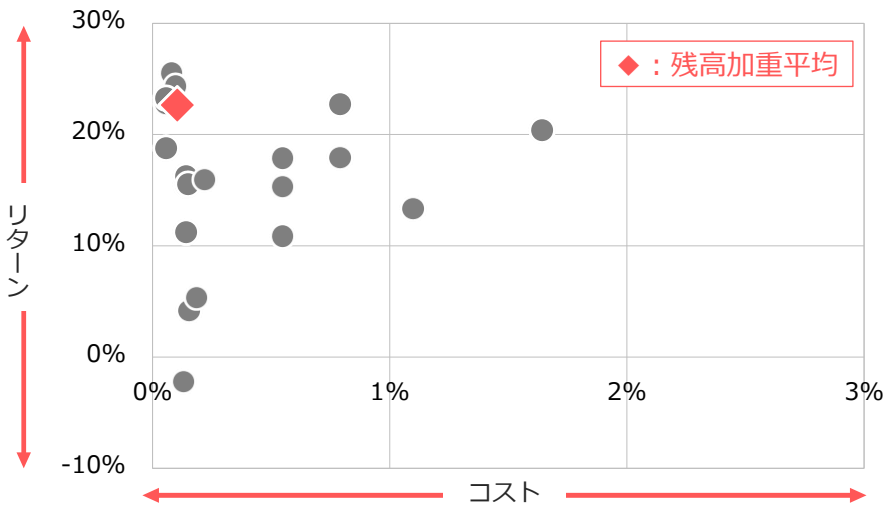
※ 上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。  
※ コスト、リスク、リターンの定義については、[こちら \(金融庁HP\)](#) をご参照ください。

<共通KPI>

【図9】 投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2025年3月末）

投資信託取引サービス「mattoco+」

原則6



|    | 銘柄名                          | コスト   | リスク    | リターン   | (リスク) | (費用) |
|----|------------------------------|-------|--------|--------|-------|------|
| 1  | eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）     | 0.08% | 16.20% | 25.47% | ■     | ■    |
| 2  | eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー） | 0.06% | 14.19% | 22.77% | ■     | ■    |
| 3  | eMAXIS Slim 先進国株式インデックス      | 0.10% | 15.26% | 24.33% | ■     | ■    |
| 4  | eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）      | 0.06% | 14.46% | 23.23% | ■     | ■    |
| 5  | eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）     | 0.14% | 8.10%  | 11.22% | ■     | ■    |
| 6  | eMAXIS Slim 国内株式（日経平均）       | 0.14% | 15.63% | 15.44% | ■     | ■    |
| 7  | eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）      | 0.14% | 12.34% | 16.21% | ■     | ■    |
| 8  | eMAXIS Slim 新興国株式インデックス      | 0.15% | 14.07% | 15.49% | ■     | ■    |
| 9  | eMAXIS Slim 先進国債券インデックス      | 0.15% | 6.77%  | 4.17%  | ■     | ■    |
| 10 | eMAXIS Slim 先進国リートインデックス     | 0.22% | 17.18% | 15.92% | ■     | ■    |
| 11 | eMAXIS Slim 国内リートインデックス      | 0.19% | 10.97% | 5.32%  | ■     | ■    |
| 12 | ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド        | 1.64% | 26.74% | 20.35% | ■     | ■    |
| 13 | eMAXIS Slim 全世界株式（3地域均等型）    | 0.06% | 11.69% | 18.79% | ■     | ■    |
| 14 | eMAXIS Neo 宇宙開発              | 0.79% | 20.93% | 22.75% | ■     | ■    |
| 15 | eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）     | 0.55% | 11.52% | 17.86% | ■     | ■    |
| 16 | これぞ、日本株                      | 1.10% | 16.11% | 13.31% | ■     | ■    |
| 17 | eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）   | 0.55% | 8.04%  | 10.86% | ■     | ■    |
| 18 | eMAXIS 最適化バランス（マイフォワード）      | 0.55% | 10.34% | 15.30% | ■     | ■    |
| 19 | eMAXIS Slim 国内債券インデックス       | 0.13% | 2.42%  | -2.23% | ■     | ■    |
| 20 | eMAXIS Neo 自動運転              | 0.79% | 35.30% | 17.92% | ■     | ■    |
|    | 残高加重平均（◆）                    | 0.10% | 14.88% | 22.63% |       |      |

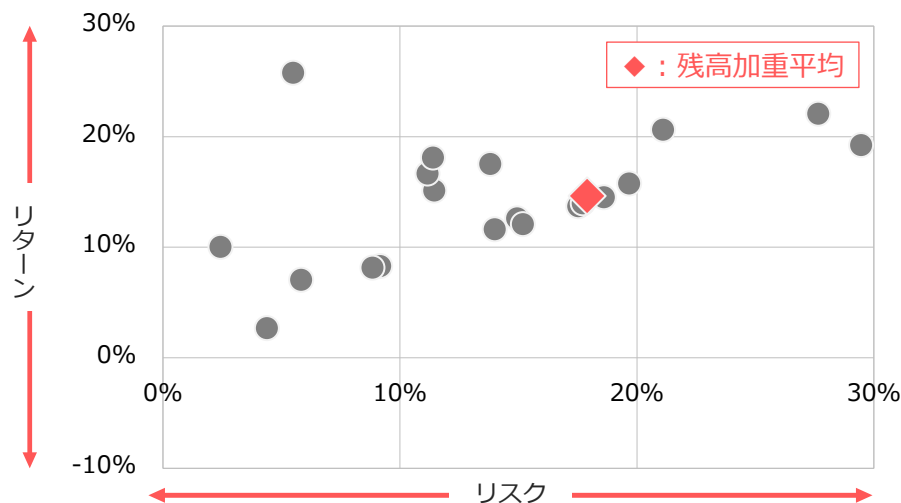
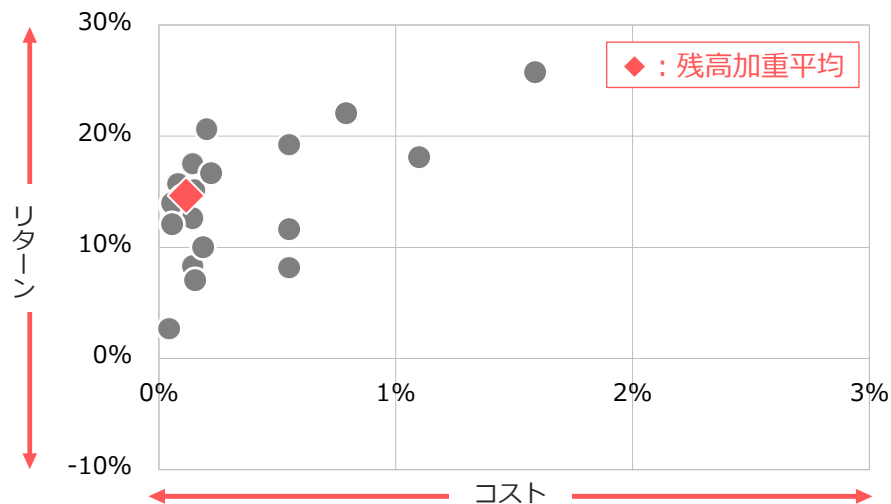
※ 上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。  
※ コスト、リスク、リターンの定義については、[こちら（金融庁HP）](#)をご参照ください。

## &lt;共通KPI&gt;

## 【図10】投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2026年3月末）

## 投資信託取引サービス「mattoco+」

原則6



|    | 銘柄名                             | コスト   | リスク    | リターン   | (リスク) | (費用) |
|----|---------------------------------|-------|--------|--------|-------|------|
| 1  | eMAXIS Slim 米国株式 (S & P 500)    | 0.08% | 15.73% | 19.68% | ■     | ■    |
| 2  | eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)   | 0.06% | 13.69% | 17.53% | ■     | ■    |
| 3  | eMAXIS Slim 先進国株式インデックス (除く日本)  | 0.10% | 14.50% | 18.62% | ■     | ■    |
| 4  | eMAXIS Slim 全世界株式 (除く日本)        | 0.06% | 13.93% | 17.72% | ■     | ■    |
| 5  | eMAXIS Slim バランス (8資産均等型)       | 0.14% | 8.26%  | 9.18%  | ■     | ■    |
| 6  | 三菱UFJ 純金ファンド                    | 0.55% | 19.22% | 29.47% | ■     | ■    |
| 7  | eMAXIS Slim 国内株式 (日経平均)         | 0.14% | 17.49% | 13.82% | ■     | ■    |
| 8  | eMAXIS Slim 国内株式 (TOPIX)        | 0.14% | 12.57% | 14.96% | ■     | ■    |
| 9  | eMAXIS Slim 新興国株式インデックス         | 0.15% | 15.10% | 11.46% | ■     | ■    |
| 10 | eMAXIS Neo 宇宙開発                 | 0.79% | 22.04% | 27.67% | ■     | ■    |
| 11 | eMAXIS Slim 先進国債券インデックス (除く日本)  | 0.15% | 7.01%  | 5.84%  | ■     | ■    |
| 12 | eMAXIS Slim 先進国リートインデックス (除く日本) | 0.22% | 16.63% | 11.17% | ■     | ■    |
| 13 | eMAXIS NASDAQ 100 インデックス        | 0.20% | 20.59% | 21.11% | ■     | ■    |
| 14 | eMAXIS Slim 全世界株式 (3地域均等型)      | 0.06% | 12.07% | 15.20% | ■     | ■    |
| 15 | バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド           | 1.59% | 25.75% | 5.51%  | ■     | ■    |
| 16 | eMAXIS Slim 国内リートインデックス         | 0.19% | 10.01% | 2.44%  | ■     | ■    |
| 17 | これぞ、日本株                         | 1.10% | 18.08% | 11.40% | ■     | ■    |
| 18 | eMAXIS 最適化バランス (マイストライカー)       | 0.55% | 11.59% | 14.01% | ■     | ■    |
| 19 | eMAXIS 最適化バランス (マイミッドフィルダー)     | 0.55% | 8.14%  | 8.85%  | ■     | ■    |
| 20 | 百戦錬磨の名人ファンド                     | 0.04% | 2.67%  | 4.40%  | ■     | ■    |
|    | 残高加重平均 (◆)                      | 0.12% | 14.63% | 17.91% |       |      |

※ 上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

※ コスト、リスク、リターンの定義については、[こちら \(金融庁HP\)](#) をご参照ください。

## 本資料の図表データに係るディスクレーマー

### 【図4】 ファンドアワード受賞本数

#### < R&Iファンド大賞について >

■「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

#### ■評価基準日について

「R&Iファンド大賞2026（評価基準：2026年3月31日）」、  
「R&Iファンド大賞2025（評価基準：2025年3月31日）」、  
「R&Iファンド大賞2024（評価基準：2024年3月31日）」、  
「R&Iファンド大賞2023（評価基準：2023年3月31日）」

#### < LSEG リッパー・ファンド・アワードについて >

■LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間 3年、5年、10 年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、<https://www.lipperfundawards.com/>をご覧ください。LSEG Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

#### ■評価基準日について

「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2026（評価基準：2025年12月末）」、  
「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2025（評価基準：2024年12月末）」、  
「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024（評価基準：2023年12月末）」、  
「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2023（評価基準：2022年12月末）」

### 【図5】 レーティング4以上のファンド数推移／占有率

■「Fundmark」は、国内で販売されている追加型投資信託の運用実績を用いて、各商品ごとにパフォーマンスの比較・評価を行っています。それぞれ運用方針の異なる投資信託には、多くの異なる要素が存在し、横並びで比較・評価を行うことは容易ではありません。そこで、NRIでは、独自の調査に基づき、運用方針や運用実態に沿って投資信託の分類（Fundmark 分類：約300分類）を行っています。同一分類内において、投資信託のパフォーマンスを相対的に評価し、順位（ランキング）や☆印による5段階の評価（レーティング）を発表しています。

※追加型投資信託の内、評価対象となるものは、アクティブファンド、トラックレコードが3年以上のファンド、過去3年の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月の運用残高が10億円以上のものに限る（ひとたび評価対象となった場合には、評価期間中の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月末の運用残高が8億円以上であれば対象を継続）。また、上記の条件を満たす投資信託が10本以上存在するカテゴリ（小分類を為替分類で細分化した分類）に属するものに限る。

#### < 個人投資家が選ぶ！ Fund of the Year >

■『個人投資家が選ぶ！ Fund of the Year 2025』は証券会社や銀行で販売している投資信託をモーニングスターの分類に準じて運営委員会が選定し、個人投資家の投票を運営委員会が集計したランキングです。投票期間：2025年11月1日～11月30日。投票対象：2025年9月30日までに設定された投資信託（ETF含む）。※金融商品に投資経験がある個人投資家が投票でき、インデックス部門、アクティブ部門、総合部門、投信ブロガーが選ぶ！ Fund of the Year 部門の分類で集計したものになります。投票者はインデックス部門の投資信託を最大で3つ、アクティブ部門の投資信託を最大で3つ、合計で最大6つの投資信託に投票できます。インデックス部門とアクティブ部門のそれぞれ、投票順に1つ目の投資信託には3点、2つ目の投資信託には2点、3つ目の投資信託には1点が自動的に配点されます。総投票者数は292名、そのうちインデックス部門は267名、アクティブ部門は134名になります。

■『個人投資家が選ぶ！ Fund of the Year 2024』は証券会社や銀行で販売している投資信託をモーニングスターの分類に準じて運営委員会が選定し、個人投資家の投票を運営委員会が集計したランキングです。投票期間：2024年11月1日～11月30日。投票対象：2024年9月30日までに設定された投資信託（ETF含む）。（投票者数は410名、そのうちインデックス部門は386名、アクティブ部門は170名）

■『投信ブロガーが選ぶ！ Fund of the Year 2023』は投信ブロガーの投票を運営委員会が集計したランキングです（投票者数：112名）。投票期間：2023年11月1日～11月30日。投票対象：2023年9月30日までに設定された投資信託（ETF含む）。

■『投信ブロガーが選ぶ！ Fund of the Year 2022』は投信ブロガーの投票を運営委員会が集計したランキングです（投票者数：135名）。投票期間：2022年11月1日～11月30日。投票対象：2022年10月31日までに設定された投資信託（ETF含む）。また、同時開催された『#TwitterFundOfTheYear2022（β）』も集計対象としています。

『#TwitterFundOfTheYear2022（β）』は投資信託に興味があるTwitter（現X）ユーザーの投票を運営委員会が集計したランキングです（投票者数：98名）。投票期間：2022年11月1日～11月30日。投票対象：2022年10月31日までに設定された投資信託（ETF含む）。

※それぞれ、海外籍ETFについては、日本の証券会社を通じて買付可能なもの。

※将来の運用成果等を保証したものではありません。

■Fundmarkレーティングはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。Fundmarkレーティングは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。Fundmarkレーティングのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、いかなる目的であれ、電子的、機械的、光学的、その他のいかなる手段によっても、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。株式会社野村総合研究所は、Fundmarkレーティングの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmarkレーティングの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

# 投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について

## 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

## 投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

購入時（ファンドによっては換金時）に直接ご負担いただく費用

購入時（換金時）手数料……上限 3.30%（税込）

購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 …… ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）…上限 年率3.41%（税込）

（有価証券の貸付の指図を行った場合）

有価証券の貸付の指図を行った場合には品貸料がファンドの収益として計上されます。

その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取る場合があります。

この場合、ファンドの品貸料およびマザーファンドの品貸料のうちファンドに属するとみなした額の上限55%（税込）の額が上記の運用管理費用（信託報酬）に追加されます。

※ 一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他の費用・手数料…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。

※ その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

## ご注意

投資信託に係るリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱ＵＦＪアセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

## 該当のHPページ

<https://www.am.mufig.jp/other/risk.html>

## 当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、三菱ＵＦＪアセットマネジメントのお客さま本位の取り組みに関して、三菱ＵＦＪアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。販売会社は、三菱ＵＦＪアセットマネジメントの照会先でご確認いただけます。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## 「資産運用業宣言2020」

2020年11月、当時の投資信託協会および日本投資顧問業協会※の各理事会において採択され、両協会の共催により開催された「資産運用業フォーラム」にて「資産運用業宣言2020」が公表されました。

当社は、本宣言の趣旨に賛同し、資産運用業を担う企業としての考え方や具体的な取り組みについて、本資料に整理・公表しています。

※ 2026年4月、投資信託協会と日本投資顧問業協会は合併し、「資産運用業協会」として発足。

2026年6月30日公表

三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

加入協会 一般社団法人資産運用業協会

三菱ＵＦＪアセットマネジメントのお問い合わせ先：お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034（受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く））

ホームページアドレス <https://www.am.mufig.jp/>